

柱2 「子どもの体力向上と体育の充実」

<p>施策1 幼児期における体力づくりの推進</p> <p>ア 幼児期の運動遊びを習慣化するための保護者の理解を深めるための取り組みの推進</p> <p>イ 幼児期の運動遊びを習慣化するための指導者の理解を深めるための研修の推進</p> <p>ウ 幼児の体を動かそうとする意欲の向上</p>
--

平成28年度の主な施策（計画） 【予算額（千円）】担当課	工程表				
	24	25	26	27	28
<p>・保護者の理解を深めるための取り組みの推進</p> <p>24年度開始新規事業 幼児版家庭教育リーフレット 【215】生涯学習課</p> <p>幼児を持つ保護者を対象としたリーフレットを作成・配布</p> <p>「親の学びプログラム」活用推進</p> <p>・指導者、保護者の理解を深めるための研修の推進 【120】指導課・体育課</p> <p>・「幼児期運動指針」の活用 【一】指導課</p>	<p>・(60,000部)</p> <p>・幼稚園教育課程研究協議会, 158名参加</p> <p>公立幼稚園への訪問時の指導助言</p>	<p>・(60,000部)</p> <p>・幼稚園教育課程研究協議会 178名参加</p> <p>・幼稚園等初任者研修</p> <p>・10年経験者研修・保育技術協議会</p>	<p>・(54,000部)</p> <p>・親子のコミュニケーションと子どもの体力の向上 (31組参加)</p> <p>・幼稚園教育課程研究協議会 151名参加</p> <p>・幼稚園等初任者研修 51名参加</p> <p>・10年経験者研修・保育技術協議会 76名参加</p>	<p>・(54,000部)</p> <p>・幼稚園教育課程研究協議会 144名参加</p> <p>・幼稚園等初任者研修 30名参加</p> <p>・10年経験者研修・保育技術協議会 68名参加</p> <p>・保護者対象研修会 24組参加</p>	<p>・幼児を持つ保護者を対象としたリーフレットを作成・配布</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p>

→ 継続して事業を進めていく予定のもの
 ⇨ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

平成 28 年度主な施策の概要【予算額（千円）】担当課・室・班

○保護者の理解を深めるための取り組みの推進【215】生涯学習課

幼児版家庭教育リーフレットについては、平成 25 年度、県内全域で 716 家庭、県内の 7 つの幼稚園・保育園の職員 80 名にアンケート調査を行い、「好感が持てたか」「役に立ったか」について尋ねたところ、どちらも 90%の保護者・職員から肯定的な回答を得ることができました。また、家庭教育支援団体等からも、「活用したい」という意見が寄せられています。

幼児版家庭教育リーフレットを今後も各市町村を通じて継続して配布する際に、市町村や保健師を通じた活用の仕方を示すとともに、幼稚園・保育所の職員に向けてリーフレットについて周知を図り、活用の推進を図っていきます。

○指導者の理解を深めるための研修の推進【120】指導課・体育課

指導者の研修の機会として、幼稚園教育課程研究協議会、幼稚園 10 年経験者研修、保育技術協議会において、幼児期における身体活動の課題や運動の意義、配慮事項について講義や研究協議をとおして、保育者の理解を促進します。また、保護者対象の研修会も実施予定です。

○「幼児期運動指針」の活用【一】指導課

幼稚園への指導の重点として、「教員の資質・指導力の向上を図る研修の充実」を掲げ、その具体化の一つとして「幼児期運動指針の具現化に向けて、具体的な活動や教材の研究を深める。」とし、各園で「幼児期運動指針」を活用した活動や環境づくりが行われるよう指導します。

柱2 「子どもの体力向上と体育の充実」

施策2 教科体育の充実
ア 児童生徒の発達段階を踏まえた指導内容の明確化による確実な定着
イ 体づくり運動の充実による体力の向上
ウ 思考・判断力の育成

平成28年度の主な施策（計画） 【予算額（千円）】担当課・室・班	工程表				
	24	25	26	27	28
・学校体育研究活動の充実 【424】学校体育 学校体育研究指定校 千葉県学校体育研究大会 全国学校体育研究大会 ・学校体育指導者の資質の向上 【769】学校体育 各種研修会等の開催 教科主任等研修会 中堅体育指導者研修会 安全技術講習会 学校体育実技指導者講習会 学校体育実技（武道）認定・指導者養成講習会 中学校体育実技（柔道）指導者養成研修会 千葉県学校ダンス研究発表会（年間1回） ・民間指導者の活用 【1,446】学校体育 ・学校体育の表彰 【49】学校体育	いすみ市 成田国際高校 流山市開催 札幌市開催 1,200名参加 実施なし H24～隔年開催 ラグビー・ボクシング・レスリング・陸上 1,300名参加 剣道9名 柔道13名参加 500名参加 30名の外部指導者を小中学校に派遣 優良校6校 功労者24名を表彰	いすみ市 野田市 匝瑳市開催 東京都開催 1,200名参加 H25実施 ラグビー・体操・サッカー・陸上 1,200名参加 剣道9名 柔道13名参加 439名の参加 30名の外部指導者を小中学校に派遣 優良校9校 功労者25名を表彰	富里市 野田市 茂原市開催 岐阜県開催 1,200名参加 実施なし 柔道・体操・サッカー・水泳 1,300名参加 剣道7名・柔道9名の参加 504名の参加 21名の外部指導者を中学校に派遣 優良校8校 功労賞24名を表彰	富里市 野田市 君津市開催 (11/6) 広島県開催 (11/12,13) 1,200名参加 H27実施 ボクシング・柔道・レスリング・ハンドボール 1,300名参加 剣道7名・柔道10名の参加 562名の参加 23名の外部指導者を中学校に派遣 優良校10校 功労者23名を表彰	富里市 佐原高校 浦安市 福島県 実施なし ボクシング・レスリング・ラグビー・サッカーで実施予定 実施なし 実施なし 実施なし 実施なし 実施なし

→ 継続して事業を進めていく予定のもの
 ⇨ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

平成 28 年度主な施策の概要【予算額（千円）】担当課・室・班

○学校体育研究活動の充実【424】学校体育

効果的な体育学習指導の在り方を探るため、研究校を指定するとともに、県研究大会の開催や全国研究大会への派遣事業を行い、実践交流・啓発活動に努めます。

- ・学校体育研究指定校
 - 富里市（富里第一小学校）（平成26年度～28年度）
 - 佐原高等学校（平成28年度～30年度）
- ・千葉県学校体育研究大会 浦安市
- ・全国学校体育研究大会 福島県

○学校体育指導者の資質の向上【769】学校体育

学習指導要領に則した体育指導を展開することや授業改善のため、各種研修会・講習会の開催や学校体育指導資料集の作成に取り組み、指導者育成や指導力の向上を図ります。

- ・各種研修会等の開催
 - 小学校体育科、中学校、高等学校保健体育科教科主任等研修会（年間1回）（37, 31）
 - 中堅体育指導者研修会（年間7回 8日間）※ 隔年開催し、平成28年度は実施なし
 - 安全技術講習会（中学校1種目 高等学校3種目）（70, 210）
 - 学校体育実技指導者講習会（県講習会 年間1回 1日間、教育事務所別講習会）（160）
 - 学校体育実技（武道）認定・指導者養成講習会（年間6回）（150）
 - 中学校体育実技（柔道）指導者養成研修会（年間1回・4月実施）（25）
 - 千葉県学校ダンス研究発表会（年間1回）（41）
- ・授業改善の推進
 - 「授業改善チェックシート」の普及・活用
 - 「体育の授業マイスター認定事業」の普及・活用（45）

○民間指導者の活用【1, 446】学校体育

指導力の優れた民間人を活用し、学校体育における教科指導の充実を図ります。

- ・武道等指導充実・資質向上支援事業（スポーツ庁委託事業）
 - 「柔道」、「剣道」を対象

○学校体育の表彰【49】学校体育

学校体育に関する研究と活動が顕著な成果を上げたと認められる学校及び指導者を（公財）日本学校体育研究連合会へ推薦するとともに、県内においては、教育長顕彰規程に基づき顕彰を行います。

- ・全国学校体育研究優良校・功労者の推薦
- ・千葉県学校体育優良校・功労者の顕彰

以上の通り、授業研究や研修・講習会の内容をより充実させ、教職員の指導力の向上に寄与し、体育学習がより充実したものになることが、子どもの体力向上の一助になると思います。今後も、改善を加えつつ、一層の充実を目指していきます。

柱2 「子どもの体力向上と体育の充実」

施策3 児童生徒の体力の向上
ア 各学校における体力向上の啓発
イ 時間・空間・仲間を意図的に提供し、遊び感覚での運動実践
ウ 体育の授業改善、教師の指導力向上
エ 体力向上に取り組んでいる学校の取組例等を各学校に紹介

平成28年度の主な施策（計画） 【予算額（千円）】担当課・室・班	工程表				
	24	25	26	27	28
・いきいきちばっ子健康・体力推進事業 【892】学校体育					
遊・友スポーツランキングちば	小・中・高・特支 300校以上 18,000件以上の 申請があった。	小・中・高・ 特支300校 以上25,000 件以上の申 請があった。	小・中・高・ 特支300校 以上18,000 件以上の申 請があった。	小・中・高・ 特支300校 以上16,000 件以上の申 請があった。	昨年度以上の 小・中・高・特 支の申請を期 待する。
運動能力証交付	小・中・高・特支 約90,000名申請 者があった。	小・中・高・特支 約93,000名 申請者があった	小・中・高・特支 約94,800名 申請者があった	小・中・高・特支 約94,800名 申請者があった	昨年度と同等 か、それ以上 の申請を期待 する
体力・運動能力調査研究	小・中・高・で 577,850名の参加	小・中・高・で 577,161名の 参加	小・中・高・で 574,937名の 参加	小・中・高・で 571,119名の 参加	引き続き調査を 継続する
体力づくり推進モデル校認定事業	59校認定校 (モデル校事業 は、H25年度で 終了)	小学校26 中学校10 (本年度で事業 終了)			
千葉の健康教育					
いきいきちばっ子「元気アップ・プラン 大作戦」コンクール 学校安全保健課		36校認定	モデル部門 小20校 中4校認定 学級みんなで 部門 小34校 中6校認定	小79校 中11校認定	→

→ 継続して事業を進めていく予定のもの

⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

平成 28 年度主な施策の概要【予算額（千円）】担当課・室・班

○いきいきちばっ子健康・体力づくり推進事業【892】学校体育

「自分の健康は自分で守る」ことの意識と実践力を身に付けるため、子どもの体力・運動能力を多面的に把握するとともに、運動・食育・生活習慣が一体となった健康・体力づくりを推進し、その成果の普及・活用を図っていきたいと考えます。（学校安全保健課との連携事業）

- ・ 校内体力向上推進組織等の活用と体力向上プラン作成の推奨
- ・ 体力づくり推進モデル校の認定（平成24・25年度新規認定なしで平成25年度終了）

平成25年度：小学校26校，中学校10校

（平成19年度から24年度：小学校76校、中学校25校，高校4校 計105校 全市町村に認定）

平成19年度当初全市町村1校を認定することも目標に開始したが、目標が達成されたので終了とします。

- ・ いきいきちばっ子コンテスト「遊・友スポーツランキングちば」の実施
（全校種対象，年間3期）
- ・ 体力・運動能力調査と運動能力証の交付
- ・ 学校や地域の特性に応じた体力づくりの奨励

今後も，広報誌やホームページ等による広報活動を展開するとともに，学校・家庭・地域が連携しながら，それぞれの子どもの状況に応じた取組を通して，積極的に運動に親しみ，早寝・早起きや食事をしっかり摂るなど，望ましい生活習慣を身に付けた「いきいきちばっ子」の育成に，より一層努めていきたいと考えます。

柱2 「子どもの体力向上と体育の充実」

施策4 運動部活動の充実	
ア	講習会等の充実
イ	外部指導者の派遣
ウ	運動部活動中の事故防止の徹底
エ	学校体育関係団体等の育成

平成28年度の主な施策（計画） 【予算額（千円）】担当課・室・班	工程表				
	24	25	26	27	28
・指導者講習会 【3,259】学校体育 中・高運動部活動指導者講習会 中・高安全技術講習会 スポーツエキスパート活用事業 ・体育功労者等顕彰 （優秀スポーツ選手・団体） ・各学校体育連盟事業補助 【23,256】学校体育 ・学校体育関係大会共催負担金 【1,300】学校体育	中・高教員 72名参加 ラグビー・ボクシング・レスリング・柔道で実施 30名を年間を通して高等学校に派遣する 小中体連補助金 高体連補助金 特別支援学校体育連盟補助金 全国高等学校野球大会派遣事業補助金 高等学校軟式野球大会負担金 関東高等学校種目別体育大会負担金 関東中学校種目別大会負担金 表現運動・ダンス及び実技講習会負担金 関東地区盲学校水泳大会負担金	中・高教員 81名参加 ラグビー・体操・サッカー・陸上で実施 30名を年間を通して高等学校に派遣する 関東地区聾学校フロアバレーボール大会負担金	中・高教員 76名参加 柔道・体操・サッカー・水泳で実施 40名を年間を通して高等学校に派遣 全国高等学校軟式野球選手権南関東地方大会共催負担金	中・高教員 87名参加 ボクシング・レスリング・柔道・ハンドボールで実施 40名を年間を通して高等学校に派遣 ・関東地区盲学校フロアバレーボール大会負担金 ・全国聾学校卓球大会共催負担金	体育科教員以外の部活動指導者を同程度募集して実施予定 ボクシング・レスリング・ラグビー・サッカーで実施予定 40名を年間を通して高等学校に派遣する 春季 関東高等学校軟式野球大会共催負担金

→ 継続して事業を進めていく予定のもの

⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

平成 28 年度主な施策の概要効果【予算額（千円）】担当課・室・班

○指導者講習会【3,259】学校体育

運動部活動は学校において計画する教育活動で、スポーツに興味と関心を持つ同好の児童生徒が、教員（顧問）の指導のもとに、主に放課後などにおいて自発的・自主的に運動やスポーツを行うものです。また、生涯にわたって親しむことのできるスポーツを見いだす格好の機会であるとともに、体力の向上や健康の増進にも効果的な活動です。

このようなことから、運動部活動の指導に当たっては適切な指導の下に、自発的、自主的な活動が展開されるよう配慮することが大切です。また、児童・生徒が豊かな生活を送りながら人格的成長を目指すことが大切で、勝利至上主義に偏ることのないよう留意する必要があります。そこで以下の具体的な施策により運動部活動の充実・発展を図ります。

・中・高運動部活動指導者講習会

運動部活動指導者で、比較的指導経験の少ない保健体育科以外の教員に対して、指導力の向上や、安全指導について実践力を高める講習会の必要性があることから、今後も継続して開催してまいります。

・中・高安全技術講習会

安全技術講習会は、部活動における生徒の安全確保と指導者の資質向上を図るため、継続して開催します。

・スポーツエキスパート活用事業

教員の高齢化や専門外種目を指導するケースが増え、運動部活動に参加する生徒のニーズに十分こたえられなかったり、教員の負担が増えたりすることへの対策として、地域の人材を活用することで補う事業です。学校からの要望も多いことから、今後も派遣を継続します。

○体育功労者等顕彰（優秀スポーツ選手・団体）

○各学校体育連盟事業補助金【23,256】学校体育

財政難から、各連盟への補助金が削減されつつある。本県のスポーツの推進、競技力向上の核となる団体である。補助の継続が必要です。

○学校体育関係大会共催負担金【1,300】学校体育

財政状況が厳しい中ではあるが、千葉県県のスポーツの振興、競技力向上の核となる団体である補助を継続します。

柱2 「子どもの体力向上と体育の充実」

<p>施策5 子どもの体力向上に向けた食育の推進</p> <p>ア 各学校での校内指導体制の充実</p> <p>イ 保護者との一層の連携体制の構築</p> <p>ウ 食育を通じた健康状態の改善等の推進</p>

平成28年度の主な施策（計画） 【予算額（千円）】担当課・室・班	工程表				
	24	25	26	27	28
<p>・食に関する指導事業 【50】学校安全保健課</p>	<p>・食に関する指導事業地区別研究協議会の開催 (県内5か所) (各200名参加)</p>				→ 継続実施
<p>・地域における食育指導推進事業 【522】学校安全保健課</p>	<p>・各教育事務所,4校,4名を指定 (20校・20名)</p>				→ 継続実施
<p>・高等学校と連携した食育活動支援事業 【1,648】学校安全保健課</p>	<p>・高等学校2校を活動支援校,小中学校5校を参加校に指定</p>	<p>・高等学校2校を活動支援校,小中学校8校を参加校に指定</p>	<p>・高等学校2校を活動支援校,小中学校5校を参加校に指定</p>		→ 高等学校2校を活動支援校,小中学校4校を参加校に指定

- 継続して事業を進めていく予定のもの
- ⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

平成 28 年度主な施策の概要【予算額（千円）】担当課・室・班

○食に関する指導事業【50】学校安全保健課

平成 27 年度同様に実施します。

第 2 次千葉県食育推進計画の最終年度であり、また、国が第 3 次食育推進計画を平成 27 年 3 月に決定したことから、その内容についての周知を図るとともに、児童生徒の食習慣・生活習慣の改善を図り各学校における食育に関する指導体制の確立を目指します。

○地域における食育指導推進事業【522】学校安全保健課

各教育事務所 4 名のうち 2 名の食育指導推進委員により、各学校において、地域の関係者等を対象とした授業公開を実施し、地域における指導実践力を高め、食育の推進を目指します。

平成 28・29 年度の 2 年間、食育指導推進拠点校 20 校の内 1 校を学校給食研究校に指定し、児童の食に関する意識を高め、実践意欲を持たせるための食育指導に向けた実践研究を行います。

○高等学校と連携した食育活動支援事業【1,648】学校安全保健課

平成 27 年度同様に実施します。

県立高等学校 2 校を活動支援校に、小・中学校 4 校を参加校に指定し、活動支援校と参加校が児童生徒等の発達段階に応じた千葉県ならではの体験を取り入れた食育活動を実践し、食育活動の一層の推進を図ることを目指します。